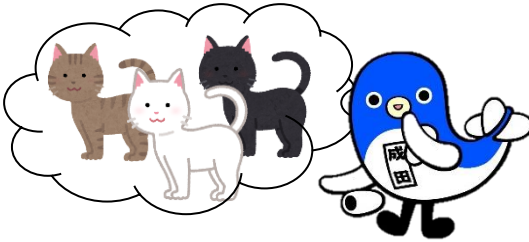


< 後置修飾 I : 前置詞 >

修飾語とは何だろう？ 例えば下の会話文を見てみるんだ。うな。



A: 私はねこが好き A: I like cats.
 B: どんなねこ？ B: What cats?
 A: 茶色いねこ A: **Brown** cats.

相手に詳しくわかってもらうためには「茶色い」という言葉があったほうがいいよね。この様に、何かを詳しく説明するために使う言葉を**修飾語**と言い、特に名詞を修飾する言葉を**形容詞**というんだ。うな。

A. それでは「修飾語」に慣れてみよう。例にならって英単語を書こう！

例 猫 ⇒ a cat どんな猫？ 黒い猫 ⇒ a (black) cat

1. 犬 ⇒ _____	どんな犬？ 白い犬 ⇒ a (_____)	_____
2. 鳥 ⇒ _____	どんな鳥？ 大きい鳥 ⇒ a (_____)	_____
3. 男 ⇒ _____	どんな男？ 背が高い男 ⇒ a (_____)	_____
4. 本 ⇒ _____	どんな本？ 古い本 ⇒ an (_____)	_____

ここまでは大丈夫かな？
でも次からが問題！

black, white, big, tall, oldなどは、名詞を詳しく説明しているので「形容詞」と言うよ

単語1つで名詞を修飾(詳しく説明)する時は、日本語も英語も語順は同じ。

(長い)川 ⇒ a (long) river のように、修飾語を**名詞の前に置く** ⇒ **前置修飾**

しかし英語は、修飾語が**複数になると名詞の後ろに置く**という特徴があるんだ。

B. 複数の単語で修飾(前置詞を使った)：修飾語を**名詞の後ろに置く** ⇒ **後置修飾**

例 帽子 ⇒ a cap (ベッド上の)帽子 ⇒ a cap (on the bed)

1. ペン ⇒ _____	(机の上の)ペン ⇒ _____ (_____ the _____)
2. 本 ⇒ _____	(箱の中の)本 ⇒ _____ (_____ the _____)
3. ねこ ⇒ _____	(いすの下の)ねこ ⇒ _____ (_____ the _____)

わかりかな、日本語と英語の違い。

①日本語：説明する語の数に関係なく名詞を前から説明 ⇒ **前置修飾**

②英語：説明する語が複数になると名詞を後ろから説明 ⇒ **後置修飾**

< 後置修飾：前置詞 3 >



あなたは今、クイズ番組に出ています。
 左の絵の生き物についてのクイズが出されました。
 早押しクイズです「私のペットはどれでしょう」
 司会者：「それではヒントを出します。」
 「私のペットはテーブルの……」
 あなた：「はいっ！トラです！」
 司会者：「ブブー、不正解。最後まで問題をよく聞
 きましょう。」
 「私のペットはテーブルの下の……」
 あなた：「はいっ！ネコです！」
 司会者：「ブブー、またまた残念、正解は犬でした。
 それではまた明日！」

一体これは何の話でしょうか？ ちょっと自分で考えてみてね。 解説は後ほど。
 ヒントは「日本語と英語の違い」だよ。 それでは今日の英プリ！

A. 次の日本語の言葉に合うように()内の英単語を並べかえなさい。

1. (Ken の隣の)男の人 ⇒ (to / the man / next / Ken)

2. (長い髪の毛の)女子 ⇒ (hair / long / a girl / with)

3. (駅の前の)美術館 ⇒ (front / a museum / of / the station / in)

4. (私のいとこの)写真 ⇒ (my / of / a picture / cousin)



B. 次の日本文に合う英文になるように()内の英単語を並べかえなさい。

1. 私はよく知っています (Ken の隣の)男の人を。
 (the man / know / to / well / Ken / next / I / .)

2. (Ken の隣の)男の人は、Jim の息子です。
 (Jim's son / to / the man / Ken / next / is / .)

< 後置修飾：前置詞 4 >

日本語と英語の持つ「言葉の表現の違い」を絵で表しました。

<p>日本語</p>  <p>リビング にある テーブルの下の ネコ</p>	<p>英語</p>  <p>a cat under the table in the living room</p>
---	--

日本語：状況や様子の説明から始まり、**最後に**何の話題かを伝える
英語：**最初に**何の話題かを示してから、状況や様子の説明を加えていく

この言葉の仕組みをまずしっかりと理解しましょう。それでは問題です。

A. 次の日本文の中で話題にしたいもの(名詞)は何ですか？その**名詞**に**下線**を引きなさい。
 次に、下線を引いた**名詞**を説明している部分を()でくりなさい。

1. いすの下の犬は Pochi です。
2. 湖の近くのホテルはとても古い。
3. このかばんの中の筆箱は私のものです。
4. 駅の前にある博物館は大きい。

B. Aの日本文に合うように()内の英単語を並べかえ、できた文章を上例にならって、話題にされている**名詞**に**下線**を引き、名詞の説明部分を()でくりなさい。

1. (the chair / under / the dog / is / Pochi / .)

2. (very old / the lake / near / the hotel / is / .)

3. (is / in / mine / this bag / the pencil case / .)

4. (in front of / big / is / the museum / the station / .)

< 後置修飾：前置詞 5 >

A. 例にならって、**名詞**に下線を引き、名詞を修飾している部分を()でくりなさい。

例 私は好きです (目が青い) 猫を。

1. 私は好きです 壁にかかっている絵を。
2. 私は知っている 健太の隣の女の子を。
3. 私は持っています 私のいとこの写真を。
4. 私は行く 駅前のレストランに。

B. Aの日本語に合うように()内の英単語を並べかえ、できた文章を上例にならって、修飾されている**名詞**に下線を引き、その修飾部分を()でくりなさい。

1. (a picture / the wall / love / I / on /.)

2. (to / I / Kenta / know / the girl / next /.)

3. (my / have / of / cousin / a picture / I /.)

4. (I / front / to / in / of / go / the station / the restaurant /.)

ここでちょっと休憩！

英語での住所の書き方を学びましょう！ ディズニーランドの住所です。

日本語：279-0031 千葉県浦安市舞浜 1-1

英語：1-1 Maihama, Urayasu, Chiba, 279-0013, Japan

何か気づいたことがありますか？ そうです、なんと住所の書き方が**真逆**です。日本語は大きな「**集団**」に関心があるのです。だから**都道府県**が**優先**されます。英語は細かい1つ1つの「**個**」に関心があるのです。だから**番地**が**優先**されます。この考え方は、名前の表記にも表れます。例えば「鈴木 一郎」

日本語：鈴木家の一郎 鈴木家に生まれた一郎 **家族という集団が優先**

英語：Ichiro Suzuki 一郎！ 鈴木家の **一郎という個人が優先**

英語の特徴：関心事が個々の小さいことから大きくなっていく

住所表記 ：1丁目だよ、美浜区の、浦安市の、千葉県にある

物事の説明：ねこだよ、テーブルの下の、リビングルームにある

これが英語の特徴です!!!! これを理解すればこの後の難しい文法も怖くない！

< 後置修飾：前置詞 6 >

A. 例にならって、**名詞**に下線を引き、名詞を修飾している部分を()でくりなさい。

例 私は好きです (目が青い) 猫を。

1. 私の家の裏の庭は小さい。
2. 私は私の家の裏の庭が大好きです。
3. 私にはアメリカ出身の友達があります。
4. これが私の友達の写真です。
5. 私はよく通りの向こうの建物を訪れる。
6. 通りの向こうの建物は図書館だ。

B. Aの日本語に合うように()内の英単語を並べかえ、できた文章を上例にならって、修飾されている**名詞**に下線を引き、その修飾部分を()でくりなさい。

1. (small / the garden / my house / behind / is / .)

2. (behind / I / the garden / my house / love / .)

3. (the U.S.A / I / a friend / have / from / .)

4. (is / friend / the picture / this / of / my / .)

5. (visit / often / across / the building / the street / I / .)

6. (the street / across / a library / the building / the street / is / .)

まとめ

「**(図書館の隣の)**建物はとても古い。」の文で、「建物」という名詞を修飾している言葉は**(図書館の隣の)**という部分だよね。その部分を指で隠してごらん。

すると「建物はとても古い。」という部分が残るね。**(図書館の隣の)**という語句がなくても文章として成立する。だから**(図書館の隣の)**という語句は、修飾語ということ。

この修飾の仕方が、日本語と英語とでは異なる！

- ①英語は、説明する語が2つ以上になると**後ろから修飾**する。
- ②英語は話題にすることをまず提示して、その後に説明を続ける。
- ③英語は「個」を大切にする言語。だから**説明が後に続く**。